

都市再生整備計画(第1回変更)

糸魚川駅北地区(2期)

新潟県 糸魚川市

令和4年12月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	新潟県	市町村名	いといがわし 糸魚川市	地区名	いといがわえきた 糸魚川駅北地区(2期)	面積	21.8	ha							
計画期間	令和	4	年度	～	令和	8	年度	交付期間	令和	4	年度	～	令和	8	年度

目標
<p>大目標:復興からの糸魚川駅北地区のにぎわいづくり</p> <p>目標1:回遊性を高めることによりまちなか全体を歩いて楽しめるにぎわいの創出を目指す</p> <p>目標2:若者や子育て世代が訪れたいくなるような施設整備と運営企画を目指し、ヒトづくりとマチづくりの「交流の場づくり」を図る</p> <p>目標3:駅北まちづくり戦略に沿った民間主導の活動を継続することで、まちづくりの担い手の育成を図る</p>

目標設定の根拠
<p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用^きの考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>本市では、糸魚川地域、能生地域、青海地域の市街地(用途地域内)に都市機能が集積し、市民の約5割が用途地域内に居住したコンパクトな都市構造を形成しているとともに、各地域の市街地を連絡する鉄道網を軸とする公共交通ネットワークが構築されている。今後、人口減少や少子高齢化が進行することなどを踏まえ、このようなコンパクトな都市構造を維持するとともに、糸魚川地域、能生地域、青海地域の市街地をはじめ、富山県・長野県及び新潟市方面と連絡し、誰もが利用できる鉄道網を公共交通体系の軸として捉えながら、経済活動が盛んなエリア(商業地域など)であって鉄道駅やバス交通が集中する公共交通体系の結節点を核とする拠点づくりを推進することにより、集約型都市の構築を目指す。</p> <p>また、北陸新幹線、日本海ひすいライン、JR大糸線の3路線を結節する糸魚川駅周辺を「中心商業・業務拠点」とし、このほか、能生地域、青海地域の商業系用途地域が指定されているエリアを「生活拠点(市街地)」として位置づけ、各拠点の役割分担を明確化し、都市的生活に必要なサービス・施設の立地を誘導する。</p> <p>山間地の集落については、中心商業・業務拠点や生活拠点(市街地)とを公共交通のネットワークでつなぎ、生活利便性を確保する。</p>

まちづくりの経緯及び現況
<p>糸魚川駅北地区約4ヘクタールを焼失した大規模火災(平成28年12月)からの復興を目指し、当市では「駅北復興まちづくり計画」に基づいた市街地の復興を進めてきた。</p> <p>計画の3つの方針のうち、「①災害に強いまち」では市道の拡幅や防災空地(市民公園)の整備、建築物の不燃化促進等を、「②にぎわいのあるまち」では駅北広場の整備や観光交流施設の拡充等を、「③住み続けられるまち」では駅北復興住宅の整備や雁木の再生、無電柱化等の取組をそれぞれ進め、計画期間である令和3年度までに都市基盤の整備が概ね完了する。</p> <p>また、これら復興事業で生まれた新しい都市基盤を活用しつつ、民間主体による持続的なまちづくりを進めていくための指針として、令和2年10月に「駅北まちづくり戦略」を策定した。戦略では、「子育て」「地産地消」「高齢者元気」の3つのテーマに沿った活動を進めることで、駅北地区が市民(大家族)にとって居心地の良い特別な場所となる「まちなか大家族」を目指す姿としている。</p> <p>一方、糸魚川駅北地区は高齢化や人口の減少率が市内の平均よりも高い傾向にあるが、立地適正化計画においては、中心市街地での魅力的な都市機能の集約と快適な住環境の整備により、若者や子育て世代が増えることで、高齢者も含めた多様な世代が集い、交流し、安心して住み続けられる中心市街地の形成を目指しており、駅北地域を都市機能誘導区域に位置付けている。</p> <p>本計画では、これら駅北まちづくり戦略や立地適正化計画に基づいた取組として、子育て支援施設や道路環境の整備を進めることで、1期計画事業とあわせ、若者や子育て世代をはじめとする市民や来街者が訪れたいくなるような市街地の形成を図る。</p>

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・日本海を一望する展望施設及び施設までの歩行空間が、まちなかの魅力向上につながっていない。 ・既存施設(子育て支援センター)が手狭になっており、移設が必要となっている。 ・屋内の乳児幼児の遊べる場の設置が望まれている。 ・子育て世代の就労状況や交流の場など子育て環境の変化に対応する必要がある。 ・まちの魅力や活気が増していくためには、主体的に活動を担う人材が必要であり不足している。

将来ビジョン(中長期)
<p>【糸魚川市都市計画マスタープラン】(平成31年3月改定)</p> <p>「豊かな自然に包まれた、市民が安全に安心して暮らせる翠の交流都市づくり」を基本理念として掲げ、①豊かな自然に包まれた集約型都市を目指したまちづくり、②市民が安全に安心して暮らし続けることができるまちづくり、③翠の文化を未来へ繋ぐ交流と協働によるまちづくりを目標にしている。</p> <p>【糸魚川市立地適正化計画】(平成31年3月策定)</p> <p>コンパクトシティ+ネットワークの実現のため、糸魚川市では将来を見据えた居住エリアの適正な規模の算出と、必要となる都市施設の適正な配置を定めた立地適正化計画を策定。</p>

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

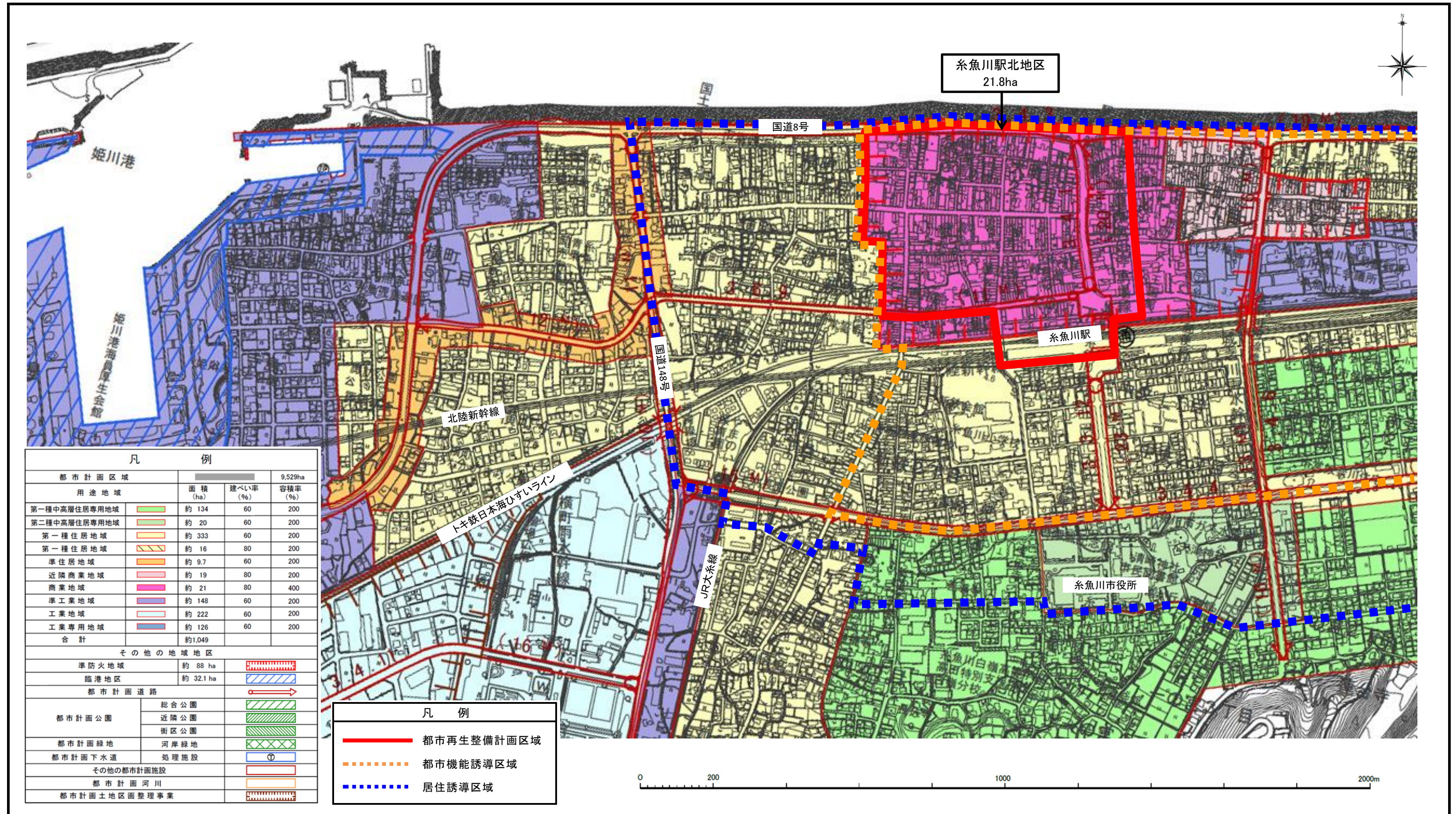
都市機能配置の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画におけるまちづくりの方針「若者・子育て世代が快適に暮らせる中心市街地づくり」の実現に向け、糸魚川地域の糸魚川駅周辺を都市機能誘導区域に位置づけ、子育て支援施設や図書館などの都市施設を誘導するとともに、さらにその周辺を居住誘導区域に位置づけ居住者の維持・誘導を図ることとしている。 ・能生地域と青海地域にも居住誘導区域を位置づけ、公共交通の効率性と利便性の向上等により糸魚川地域との連携を強化することで日常生活に必要な都市機能の享受を維持する。
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちなか歩行者数	人/日	本町通りの歩行者数	来街者がまちなかを歩いて楽しめるまちづくりを目指し、中心市街地歩行者数を賑わいの指標とする	322人/日	R1年度	346人/日	R8年度
子育て環境の満足度	%	市民アンケートのうち、「子育ての環境」項目における満足度	若者や子育て世代が訪れたいくなるような「交流の場づくり」を目指し、子育ての環境の満足度を指標とする	52.4%	R1年度	65.0%	R8年度
民間主体による地域活性化活動への参加団体数	団体	区域内での民間主体による活動への参加団体数	民間主体の活動によるにぎわいの創出を図るもので、活動への参加団体数を指標とする	217団体	R1年度	222団体	R8年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【回遊性を高めることによりまちなか全体を歩いて楽しめるにぎわいの創出を目指す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道の拡幅改良に加え、建物の防火性能を高めることで地区の不燃化を進めるとともに、雁木の建築による取組支援により、まちなみ景観を形成する。 ・展望施設を、歩いて楽しい空間へと改修し、回遊性の向上を図る。 	<p>【基幹事業】(道路)市道浜町通線拡幅改良 【基幹事業】(高質空間形成施設)展望施設改修 【提案事業】(地域創造支援事業)本町通り修景助成(雁木) 【提案事業】(地域創造支援事業)本町通り建築物不燃化助成</p>
<p>【若者や子育て世代が訪れたいような施設整備と運営企画を目指し、ヒトづくりとマチづくりの交流の場づくりを図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の子育て支援センターを移設し、親子で時間を過ごせる屋内遊戯施設の機能を設けることで、子育て世代の交流の場とする。 ・子どもの一時預かり機能により、子育て環境の充実を図る。 	<p>【基幹事業】(高次都市施設)子育て世代活動支援センター</p>
<p>【駅北まちづくり戦略に沿った民間主導の活動を継続することで、まちづくりの担い手の育成を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体的にまちづくり活動に関わることにより、新たなまちづくりの担い手の発掘・育成と持続的な活動展開を進めるため、実践と話し合いの場を設ける。 ・子育て世代が駅北エリアに訪れるきっかけと、屋内遊戯施設整備に向けた利用検証をする。 	<p>【基幹事業】(道路)市道仲町通線環境形成 【提案事業】(事業活用調査)子育て支援利用促進検討事業 【提案事業】(まちづくり活動推進事業)駅北デザインミーティング運営支援</p>
<p>その他</p>	
<p>駅北大火からの復興まちづくりにあたっては、平成28年度から令和3年度までの間、社会資本整備総合交付金を活用し、下記の事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市防災総合推進事業 道路拡幅改良、不燃化促進、防災広場整備 2. 街なみ環境整備事業 電線地中化、修景施設整備、道路美装化 3. 小規模住宅地区改良事業 改良住宅新築 4. 都市再生整備計画事業(都市構造再編集集中支援事業) 駅北広場整備、観光交流センター拡充、駐車場整備、にぎわい創出人材育成 	

糸魚川駅北地区(2期)(新潟県糸魚川市)

面積 21.8 ha 区域 糸魚川市大町、本町、横町



糸魚川駅北地区(2期)(新潟県糸魚川市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: 復興からの糸魚川駅北地区のにぎわいづくり	代表的な指標	まちなか歩行者数 (人/日)	322 (R1年度) → 346 (R8年度)
	目標1: 回遊性を高めることによりまちなか全体を歩いて楽しめるにぎわいの創出を目指す		子育て環境の満足度 (%)	52.4 (R1年度) → 65.0 (R8年度)
	目標2: 若者や子育て世代が訪れたいような施設整備と運営企画を目指し、ヒトづくりとマチづくりの「交流の場づくり」を図る		民間主体による地域活性化活動への参加団体数	217 (R1年度) → 222 (R8年度)
	目標3: 駅北まちづくり戦略に沿った民間主導の活動を継続することで、まちづくりの担い手の育成を図る			

